
東方放浪記

片仮名

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方放浪記

【Nコード】

N5087Z

【作者名】

片仮名

【あらすじ】

幻想を追い求めたがために幻想となった青年。

青年は幻想の地で様々な事件に巻き込まれる。

それは本人の意思に関わらず。

日常から異変へ、異変から日常へ、移り変わるたびに彼は何を思い、何を感じるのだろうか。

幻想入り

突然のことだった。

朦朧としている頭の中に語りかけてくる、女性の声。

まだ、生きたい？

俺は、伝説や伝承、噂話が好きで日本各地を飛び回っていた。

その日もネットに書かれていた噂、

『異世界と繋がる神社！？』

そんなものに興味を持ち、その場所へと行った。

現地へ着いても、何の異変も感じない。

何の変哲もない神社だった。

「やっぱり、ハズレか……」

そりゃ、そうだな。

小説の世界じゃあるまいし、異世界と繋がるなんてね。

あってほしいとは、思っても実際にはそんなことあるわけないと思っ
ている自分がいる。

でも、空気はきれいで、厳かな雰囲気だからくる価値はあったな。

そんなことを思いながら、さっさと帰りますか、と石段を降りようととした瞬間、

「あ、れ？」

疲れていたのだろうか、一瞬意識が飛んだ。しかし、その一瞬でも石段に踏み出そうとした俺の足が踏み外すには十分だった。

目の前に石の壁が迫る。

「ぐっ、うっ!？」

ガン、ゴン、と身体中をぶつけながら、転がり落ちていく俺。意外と長かった石段を最上段から勢いよく転がり落ちた身体はかなりボロボロだった。

打撲だけならまだ良かったのかもしれない。しかし、どこかで打ちどころが悪かったのか、頭からドクドクと血が出ている。

そのせいか意識がもうろうとして、身体が動かない。

転げ落ちて死ぬなんてなあ……。

友達に話したら笑われるな、こりゃあ。

こちら辺は人もあまり通らないだろうし。

まだ、色々やりたいこととかあったんだがな。

そんなことが一瞬の間に頭の中をよぎる。

死ぬ瞬間って本当に時間がゆっくりになるんだな、一回でも妖怪や

らなんやら、そんな感じの生き物に会ってみたかったな、などと思
いながら、

意識を手放し

あなた、まだ生きたい？

あ？

生きたい？

なんだ、この女性の声は。

時間が無いの。答えて。生きたい？

そりゃあ、ね。まだまだやりたいことは色々あったし。

そう、生きたいのね？

もう何回もつるさいな、俺はまだ生きたい！でも、もう死ぬんだよ

！見たらわかるだろ！

いいえ、あなたは死なないわ。私が連れて行くのだから。

はあ？何言ってる……。

ようこそ、幻想郷へ。幻想好きな人間さん？

そこで、本当に意識を手放した。

幻想入り（後書き）

なんかもう色々と唐突で短いですね！すみません！
ありがちな展開。死んで幻想入り。

幽霊で入れようか、半人半霊で入れようか、いまだに迷っています。
霊が入るのは確定なのかって？
そりゃそうでしょう。死んでるんですもの。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5087z/>

東方放浪記

2011年12月17日05時53分発行